WinBook WV シリーズ
BIOS セットアップ
マニュアル

●BIOS セットアッププログラムについて

BIOS セットアッププログラムとはパソコンの BIOS 設定を確認したり、変更するためのプログラムです。本機では AMI BIOS を使用しています。セットアッププログラムは、マザーボード上のフラッシュメモリに格納されているため、いつでも実行できます。
BIOS セットアッププログラムで定義する設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域のメモリに格納されています。このメモリはマザーボードに搭載されたバッテリーによって保存されているため、パソコンの電源を切ったり、リセットしてもメモリの内容が消えることはありません。パソコンが起動するたびに設定のチェックを行い、CMOS RAM 内の情報と、実際のハードウェア設定に違いが見つかれば、セットアッププログラムを実行するよう要求してきます。

注意

BIOS の設定を間違うと、深刻なトラブルを引き起こす原因となります。BIOS 設定の際には細心のご注意をしてください。また、ご理解できない場合は BIOS の設定を変更しないことをお勧めします。

メモ

・BIOS 設定を変更する場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモしておくことをお勧めします。
・実際に表示されるメニューは、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、多少異なる場合があります。

●BIOS セットアッププログラムに入るには

1. 本機の電源を入れると"SOTEC"ロゴが表示されるので、その画面が切り替るまでに[F2]キーを押してください。キーを押すのが遅れると、Windows が起動します。
2. BIOS セットアッププログラムに入ると、[セットアップメニュー] が表示されます。メニュー画面の最下部には、使用可能なキーの一覧が表示されます。

セットアップ画面の最上部のメニューバーから使用できるメニュー

メニュー画面	説 明
Main	ハードウェアコンポーネントにリソースを割り当てます。
Advanced	チップセットを介して使用できる、高度な機能を指定します。
Boot	起動オプションと電源制御を指定します。
Security	パスワードとセキュリティ機能を指定します。
Power	電力管理機能を指定します。
Exit	変更を保存、または廃棄します。

メニュー画面で使用できるファンクションキー

セットアップキー	説 明
[F1]	現在の項目のヘルプ画面を表示します。
[Esc]	メニューを終了します。
[←] または[→]	別のメニュー画面を選択します。
[↑] または[↓]	カーソルを上下に移動します。
[F10]	現在の値を保存し、セットアップを終了します。
[Enter]	コマンドを実行したり、サブメニューを選択します。

ヘルプウィンドウ

各メニューの右側のフィールドヘルプウィンドウに、現在選択しているフィールドのヘルプが表示されます。また、どのメニューにおいても、[F1] キーを押すと総合的なヘルプが表示されます。

●BIOS セットアッププログラムメニュー

Main メニュー

CPU やメモリの情報を見たり、システムの日付や時刻、フロッピーのオプション、
IDE デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
Processor	オプションなし	搭載しているプロセッサの種類を表示します。
System Memory	オプションなし	システムメモリの量を表示します。
System Time	時／分／秒	現在の時刻を指定します
System Date	月／日／年	現在の日付を指定します。
System BIOS Version	オプションなし	BIOS のバージョンを表示します。
KBC Version	オプションなし	KBC のバージョンを表示します。

Advanced メニュー

チップセットを介して使用できる高度な機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
IDE Configuration (サブメニュー)	オプションなし	接続されている IDE デバイスのタイプを表示します。これを選択すると、Primary IDE Master/ Secondary IDE Master サブメニューが表示されます。
Touchpad Support	・Disable ・Enable	本体のタッチパッドを Enable (有効) / Disabled (無効) にするか選択します。
Share Memory	・32MB ・64MB ・128MB	本体メモリのうちビデオメモリに割り当てる容量を指定します。
LCD AutoDimm Function	・Disable ・Enable	バッテリ使用時バックライトの明るさを自動的に調整を行うか指定します。

IDE Configuration 設定サブメニュー

IDE デバイス設定サブメニューでは、次の IDE デバイスを設定します。

・プライマリーIDE マスタ

・セカンダリーIDE マスタ

機 能	オプション	説 明
Device	オプションなし	機器のタイプが表示されます。
Vendor	オプションなし	機器の装置名が表示されます。
Size	オプションなし	機器の容量を表示します。
LBA Mode	オプションなし	LBA モードの状態を表示します。
Block Mode	オプションなし	Block モードの状態を表示します。
PIO Mode	オプションなし	PIO モードの状態を表示します。
Async DMA	オプションなし	非同期 DMA モードの状態を表示します。
Ultra DMA	オプションなし	Ultra DMA モードの状態を表示します。
S.M.A.R.T.	オプションなし	ハードドライブの自己診断機能(S.M.A.R.T.)が使用可能か表示します。
Type	・Not Installed ・Auto ・CD/DVD ・ARMD	IDE デバイスの設定モードを指定します。 通常は Auto のまま変更しないでください。
LBA/Large Mode	・Disabled ・Auto	論理ブロックアドレッシング(LBA)を有効にします。 通常は Auto のまま変更しないでください。
Block (Multi-Sector Transfer)	・Disabled ・Auto	ハードドライブのマルチセクター転送を使用するか指定します。
PIO Mode	・Auto ・0 ・1 ・2 ・3 ・4	ハードディスクとシステムメモリ間での PIO データ転送方法を指定します。
S.M.A.R.T.	・Auto ・Disabled ・Enabled	ハードドライブの自己診断機能(S.M.A.R.T.)を有効にするか指定します。
32 Bit Data Transfer	・Disabled ・Enabled	CPU と IDE カード間での 32 ビット伝送を有効(Enabled)/無効(Disabled)にします。 PCI 、またはローカルバスが必要です。

Boot メニュー

起動機能と起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
Boot Settings Configuration (サブメニュー)	オプションなし	起動時設定サブニューが表示されます。
Boot Device Priority (サブメニュー)	オプションなし	起動デバイス設定サブメニューが表示されます。

起動時設定サブメニュー

起動時の詳細設定を設定します。

機 能	オプション	説 明
Quick Boot	・Enabled ・Disabled	有効にすると、起動時の診断テストの一部を行わないため、起動時間を短縮できます。
Bootup Num-Lock	・Off ・On	起動時 Num-Lock を有効にするか指定します。

起動デバイス設定サブメニュー

起動機能と起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
1st Boot Device 2nd Boot Device 3rd Boot Device 4th Boot Device	・Removable Dev. ・CD/DVD ・Hard Drive ・Intel UNDI,PXE-2.0 (Build 082) ・Disabled	使用可能なデバイスから起動順序を指定します。 起動順序を指定するには、 1.[↑] または[↓] キーで起動デバイスを選択します。 2.[Enter]キーを押し、デバイス[↑] または[↓] キーで選択し、[Enter]キーを押します。 オペレーティングシステムは、各起動デバイスにそれがリストされている順序でドライブレターを割り当てます。デバイスの順序を変更すると、ドライブレターの割り当ても変更されます。

Security メニュー

パスワードとセキュリティ機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Supervisor Password	オプションなし	スーパーバイザーパスワードの設定状況を表示します。
User Password	オプションなし	ユーザーパスワードの設定状況を表示します。
Change Supervisor Password	パスワードには、最大で 6 文字の英数字が使用できます。	スーパーバイザーパスワードを指定します。
User Access Level	・No Access ・View Only ・Limited ・Full Access	ユーザーモードの制限事項を指定します。No Access(アクセス禁止)、View Only(閲覧のみ)、Linmited(制限つき)、Full Access(無制限)から選択します。
Change User Password	パスワードには、最大で 6 文字の英数字が使用できます。	ユーザーパスワードを指定します。
Clear User Password	オプションなし	ユーザーパスワードを消去します。
Boot Sector Virus Protection	・Enable ・Disabled	ウィルス保護のため、ハードディスクのブートセクターをプロテクトします。

[スーパーバイザーパスワード] と[ユーザーパスワード] の両方を設定する場合、最初にスーパーバイザーパスワードを設定してください。一度両方のパスワードを設定すれば、スーパーバイザーパスワードかユーザーパスワードのどちらかを入力することで、セットアッププログラムに入ったり、パソコンを使用したりできるようになります。

メモ

パスワードの保管について

入力したパスワードは覚えておくか、必ずメモしておくようにしてください。パスワードを忘れると、次に電源を入れたときにパソコンが使えなくなります。また、セットアッププログラムに入ることもできなくなります。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定した場合の動作を示します。

機 能	オプション	スーパーバイザーのみ	両 方
スーパーバイザーモード	すべてのオプションを変更可能		
ユーザーモード	すべてのオプションを変更可能	N ／A	限定された数のオプションを変更可能
起動中のパスワード	なし	スーパーバイザー	スーパーバイザーまたはユーザー
セットアッププログラムに入るためのパスワード			

パスワードを削除、または変更

現在のパスワードを削除したい場合は、以下の手順に従ってください。

1 Security メニューの Change User Password （ユーザーパスワードの設定）、または Change Supervisor Password （スーパーバイザーパスワードの設定）で、[Enter] キーを押します。

2 何も入力せずに、[Enter] キーを押します。

Power メニュー

電源管理機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Power Button Function	・On/Off ・Suspend	電源ボタンを押した時の動作を設定します。

Exit メニュー

セットアッププログラムの終了、変更の保存、デフォルト設定の読み込みや保存を行います。

機 能	説 明
Save Changes and Exit	セットアップを終了し、変更を CMOS RAM に保存します。
Discarding Changes and Exit	セットアップで行ったすべての変更を保存しないで終了します。
Load Optimal Defaults	すべてのセットアップオプションに対してデフォルト値を読み込みます。